

(別紙の2)

自己評価及び外部評価票

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	会社理念である「コミュニケーション」と「生き残りハビリ」に基づき、施設目標「本人の出来る事を生かし発揮出来る場を」を掲げ、全体会議の場にて確認し、共有と実践に努めています。	職員全体会や社内研修において、会社理念に基づいたグループホーム目標を共有し、利用者一人ひとりが「発揮できる場」となっているかを確認し合い、実践につながるよう努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	今年度も新型コロナウイルスの影響もあり、地域の行事も中止されており、参加出来ない状況です。外の遊歩道で会う方に挨拶したり除草作業や河川清掃などの施設周辺の環境美化に取り組んでいます。	喫茶店にコーヒーを飲みに行ったり、地域の図書館で紙芝居を借りたり、展示会に行ったり、遊歩道ですれ違う人達と挨拶を交わしたりと、日常的に交流して、利用者にとって安心できる地域づくりに努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	今年度も社会福祉体験等の依頼はあったが、新型コロナウイルス感染予防の観点から、難しい状況です。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている。	家族代表・民生委員・地主さん・包括支援センターの職員さんに2ヶ月に一度、出席していただいております。利用者状況・サービス提供・健康状況・苦情・事故報告・収支報告をし、助言や要望等お聞きし、業務に生かさせていただいております。	利用者の日常生活や事業所の収支報告、防災について話し合いを行っている。今後は、外部評価受審後の評価結果を、評価・達成計画・実施、そしてこの会議においてモニタリングを行い、事業所の質の向上に活かそうと検討している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力を築くように取り組んでいる。	2ヶ月に一度の運営推進会議に包括支援センターの職員さんに出席していただき、事業所の報告をおこなっております。また、相談や情報の交換等もさせていただいております。	運営についての相談や情報交換等、市の担当者は、「グループホーム切石」ときちんと対応して下さり、両者とも協力関係が構築されている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	社内研修実施計画にて身体拘束についての研修を年4回おこなっております。正しい理解と身体拘束をしないケアに取り組んでいます。玄関の施錠は防犯の観点から、夜間のみおこなっております。	全体会議及び施設会議において、身体拘束をしない方針を職員に明言し、ヒヤリハットから拘束になっていないか等を検証している。例えば、居室のベッドの位置は生活の場として相応しいかなど、日常的に拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	管理者及び職員は、虐待がおこなわれないように注意を払い、虐待防止に努めています。社内研修にて虐待防止に関する研修もおこなっており、理解を深めていくよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会がもていない状況です。仕組みなど理解していけるよう、研修参加や勉強会を開き取り組んでいきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に契約書及び重要事項説明書の読み合わせを行い、理解と納得をしていただいたうえで、契約をさせていただいております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議にて家族代表や利用者に出席していただき、意見・要望をいただいております。また、家族が来訪された時やお電話等にて意見・要望をお聞きし対応させていただきます。	利用者の生活状況を毎月家族等に報告している。家族等からの電話や来訪時に意見を聴き、今回のアンケートを活用し、これらを全体会議において職員間で検討を行い運営に反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度、開設者及び管理者、職員全員が参加する全体会議をおこなっております。意見を出し合ったり話し合う場を設けています。会議以外でも意見・要望・相談が出来る環境づくりに努めています。	職場として、意見等言い易く又、聞き容れやすい環境にあり、出された意見や提案は、全体会議等において話し合い、職員は協力している。管理者は職員の意見を聴き、運営に活かすよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	努めていると思います。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	初任者研修や実務者研修、法人外の研修も希望があれば勤務しながら受ける機会を作っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	新規に開設された施設に見学に行き、同業者の方との交流をしています。		

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所前にご本人と面談し、困っている事、不安な事、要望などお聞きし、安心して過ごしていただける様に信頼関係の構築に努めさせていただきます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入所前にご家族と面談し、困っている事、不安な事、要望などお聞きし、安心していただける様に何でも話ができるような関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入所する前に、ご本人・ご家族とお会いし、お話しする中で、何が必要なのか、何に困っているのかなど、状況確認し、サービスの支援の見極めに努め、場合によって社内、他施設のサービスの利用も視野に入れております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人の気持ちを尊重し、日常生活における生活を職員も一緒におこない、日々、コミュニケーションを図り、良い関係が築ける様に努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	常日頃から報告・相談させていただいております。ご家族には協力させていただいており、共に支えあう関係性を築けていると思えます。面会が難しい中、お電話などで絆を大切にしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	新型コロナウイルスの状況をみながら感染防止対策をもとに面会させていただいております。日常の様子や行事の様子をご家族に写真や文書にてお伝えしております。	入居時に、介護支援専門員や本人及び家族等から、これまでの生活状況を聴き、把握している。面会が難しい中、電話で話をするなど、ケアプランに活かし、利用者の暮らしに活かすよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	感情の起伏や作話などで利用者に混乱が起こらないように配慮しながら、孤立しないように気が合う方と席を近くにしたりなど、お互いに支え合うような関係を築けるよう支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も、相談や支援の要請があれば対応させていただいております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	声掛けを意識し、会話や行動、表情から職員は利用者本人の気持ちを汲み取り、希望・意思の把握に努めております。また、職員同士でも情報交換し、検討しております。	意向把握が困難な利用者に、一緒に生まれ育った地域の民謡を歌い、踊ったりすると表情が明るくなった。このように、一人ひとりに何をしたら気持ちが出せるかを、職員の気づきを共有しながら、本人が自己決定出来るよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所前に面談を行い、生活歴や生活環境、入所に至る経過の把握に努めております。入所後も職員は、ご本人の以前の暮らしや昔の事をお聞きしたりし、ご利用者の事を知るように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	朝のバイタル測定にて体調管理をおこない、状況に合わせて対応しております。状態の変化などケースに記録し職員間での情報共有に努めています。必要に応じて看護師に報告・相談し指示を仰ぎ対応しております		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人・ご家族から要望・意見をうかがったり、日々の関わりの中で気づいた事や出てきた課題を月一回の会議にて検討や必要に応じて話し合いを行い介護計画を作成しております。	日頃の関わりの中から、本人や家族等から意見や思いを聴き、アセスメントを含め職員全員で意見交換や毎日のモニタリングを重視して、その人らしく暮らせる介護計画となっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ほのぼのシステムに個々の日々の記録をおこなっています。変化や気づきなど様子をケースに記録し、職員間で情報を共有し実践や介護計画の見直しに役立てております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	社内の理学療法士・歯科衛生士・栄養士・看護師と各専門の方がおり、その時々生まれるニーズに合わせて相談し対応させていただいております。		

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)		外部評価(評価機関記入)	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	外部交流など地域との関わりが難しい状況ですが、喫茶店にコーヒーを飲みに行ったり、地域の図書館に紙芝居を借りて読んだり、展示品を見に出掛けたり、花見をしたりと四季を感じられるよう支援しております。		/	
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入所前に、かかりつけ医院の確認をご家族におこなっており、かかりつけ医院の受診・往診を受けています。急変時や異常時、連絡し指示を仰ぎ対応しております。		馴染みのかかりつけ医に受診できるようになっている。受診後は、家族等と情報の伝達が適切に行われている。歯科衛生士との連携もあり、口腔ケアを受けている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師とは必要な相談ができる体制になっております。緊急時・異常時は速やかに報告し指示を仰ぎ対応できるようにしています		/	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院担当者と連絡を取り合い、情報交換をおこない、退院後の生活においても、情報をいただき対応していきたいと思っております。		/	
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	グループホームでの生活が困難になりそうな場合、主治医等の意見をお聞きしたり、早い段階でご家族にはご連絡し、今の状況を説明し、今後の事も視野に入れ、相談させていただいております。		事業所としては、看取りをしない方針である。主治医と家族等との話し合いを行い説明を行っている。今後、関係者で利用者一人ひとりの思いをくみ取りながら、終末期をどう支援していくかの話し合いを計画している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	消防署に依頼し、救命救急講習会を実施しております。緊急時は緊急時マニュアルに沿って対応しております。		/	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災対策マニュアルを作成しており、土砂災害訓練(年一回)、防災訓練を消防職員参加の下(年2回)実施しております。地域との協力体制が築けておりませんが、社内他施設の協力体制はとれております。		消防署の協力を得て、土砂災害や防災訓練を実施している。本部チームからの協力体制は整っている。今後、様々な災害発生条件などを鑑み、具体的に検討し、体制化するよう計画されている。	
					訓練を実施した後は、課題を詳細に記録し、次のステップに活かすことを期待したい。又地域との協力も得て、発生したら、どう行動するか具体化される事を期待する。	

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーに配慮した言葉掛けや対応を心掛けています。肯定や否定するような言葉掛けには気を付けており、共感と傾聴を心掛けています	職員は、利用者に対し、管理しがちになるのではなく、気づきを持って接する様にしている。個人情報保護について、再度確認し合い、又、研修を通じてプライバシーの確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の様子や何気ない会話から本人の思いや希望をくみ取るように努めています。職員主導にならないよう気を付け、ご本人が自己決定しやすいように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日の過ごし方の流れはあるが、無理強いないよう、日々の気分や体調に合わせ、ご本人のペースに合わせて過ごしていただいております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎朝の整容、入浴時は、その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援しております。定期的に美容師さんに訪問していただいております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	季節の食材や畑で採れた野菜を取り入れています。食べたい物など要望をお聞きし誕生日会や行事の時に提供しております。調理の下ごしらえや片付け等も、個々の力に合わせ、一緒に行っています。	利用者は、事業所の傍の畑から収穫した野菜や近所からお裾分けして頂いた野菜を洗ったり、刻んだり、又、テーブルを拭く等、出来る力を活かしながら、楽しい食事となっている。利用者の誕生日には、手作りケーキで100歳おめでとう！のお祝いを行った。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	ほのぼのシステムに食事量・水分量の記入をおこない、職員が確認しております。状況に合わせて食事形態を変えております。栄養士の考えた献立を元に栄養バランスも考え食事を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアをおこなっており、義歯の方には週1回、洗浄剤を使用し汚れを防止しております。必要時には社内の歯科衛生士さんに見てもらい、歯科往診に来ていただいております。		

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	ほのぼのシステムにて排泄時の記録をおこない、排泄の間隔や状況把握に努めております。タイミングを見て必要な方には声掛けや誘導を行っております。	ほのぼのシステムを活用し、本人が行きたい時にトイレでの排泄が出来るよう、一人ひとりの状況を職員間で共有し、自立に向け支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便チェック表にて職員は確認し把握できるようにしています。便秘の方には水分に食物繊維を入れ提供したり、ヨーグルトを召し上がっていただいております。下剤は状況に合わせて服薬していただいております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている。	入浴日は固定しておりますが、本人の気分や体調に合わせて入れ替えし、その方の希望に沿えるように支援をおこなっております。	職員2人対応で、安全に入浴できるよう支援している。自分好みのシャンプーや入浴後の化粧水を使ったりして、思い思いの入浴を楽しんでいる。入浴できない場合は、清拭やシャワー浴で支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	休息・休憩は本人の体調や状況に合わせて自由にとっていただいております。午睡を設けてはおりますが、本人のペースで過ごしていただいております。生活リズムを整えるよう体操や外気にあたる等、支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一人ひとりの内服薬の情報は、いつでも確認できるようになっており、薬の変更時や頓服が出た時は申し送り・連絡事項にて職員は確認、把握するように努めています。症状に変化が出た時は看護師に報告し指示をもらい対応しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その人の生活歴や状況に合わせて、掃除や調理、作品作りなど一人ひとりが出来る事を発揮できるように支援しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	新型コロナウイルスの影響もあり、希望に沿っての戸外・外泊は難しい状況にあります。天候の良い日や季節のいい時期には外に出たりし、外の空気を感じていただけるように努めております。	事業所の近くの遊歩道を散歩、畑の草むしりや野菜の収穫等々、又、寒いときは暖かい服装で外出を行い外の空気に触れ、職員も一緒に五感で楽しめるよう支援している。	

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ほとんどの方が、ご家族が管理しており、本人が使えるような支援ができておりません。必要時はご家族が買ってきて下さったり、病院受診時など外出された時などに買い物してきていただいております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望があれば、制限することなく電話をかけられるようにしています。電話が来た際にはご本人とお話できるように支援しております。手紙は定期的に届く方はおりますが、やり取りはできておりません。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有の空間は、できるだけ居心地の良いように配慮しております。季節感を取り入れた飾りをしたり、日時を分かりやすく工夫しております。	玄関に入ると、秋桜の花が飾られ、居間にはソファがあり気の合った仲間と、ゆったりできる場となっている。又、おいしそうな食事の匂いがしてくる。利用者は、広い廊下で”エイエイオー”と運動をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	気の合った利用者同士、近くの席に座っていただいたり、団らんできるようにソファを設置したり、工夫しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人の使用している寝具や家具、なじみのある物を持ち込んでいただいたり、飾ったりしていただいております。	居室からは近所の家や木々が眺められ、本人の好みのカレンダーや仲間と一緒に作った手作り作品、大切な人の写真等が飾られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物はバリアフリーになっており、居室・トイレ・ホールは分かりやすい設計になっております。居室には名札や居室名を馴染みのある花の名前にしたりと分かりやすい工夫しております。		